

類例 If I were you, I **wouldn't do** such a thing.

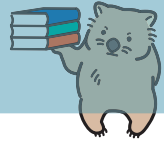
私があなたの立場だったら、そんなことはやりませんよ。

If I **had** more money, I **would buy** a new smartphone.

もっとお金があれば、新しいスマホを買うのだが。

If the food **were** good, I **would order** more.

食事がおいしかったら、もっと注文するんだけど。



If I **were** you, I **would do** my homework first.

もし私があなたなら、宿題を先に仕上げてしまいます。

If I **had** more time, I **would take** you to the station.

もっと時間があれば、駅まで連れて行ってあげるのだけど。

I **would stay** home if I **had** a fever. 熱があったなら、家にいるのだが。

① ② の前提にある「現実」を直説法であえて表現すれば次のようになる。

①' ≡ As I don't have 100,000 yen, I will not buy a new computer.

②' ≡ As I am not you, I do not need to go to a doctor immediately.

【!】 〈If I were ...〉のように、if 節の中での be 動詞は、主語の人称や数に関係なく were を用いる。ただし、1 人称・3 人称の単数の場合、《くだけて》では was が用いられることが多い。

【!】 仮定法過去で、実際には起こりそうにない未来の内容を仮定することもある。この場合は、if 節内の動詞は動作動詞。

If you **won** the lottery, what **would** you do? 宝くじ当たったらどうする？

類例 If I **had known** that you needed more money, I **could have lent** you some.

君がもっとお金が必要だったと知っていたら、少し貸してあげることができたのに。

If I **had been** at your house, I **could have helped** you with washing dishes. 君の家にいたら、皿洗いを手伝ってあげられたのに。

If I **had studied** harder, I **could have gotten** A in English.

もっとしっかり勉強していれば、英語で A を取ることができたのに。

If I **had known** Kenta's phone number, I **could have called** him.

健太の電話番号を知っていたら、電話をかけることができたのだが。

練習問題 2：適切な単語をカッコ内に入れなさい

→ 解答 p.345

- ① もしあと 1 分遅く着いていたら、電車に乗り遅れていただろう。
If I () () one minute later, I () () missed the train.
- ② もし彼がああの飛行機に乗っていたら、死んでいただろう。
If he () () that plane, he () () been killed.
- ③ もし君がもっと一生懸命勉強していたら、その試験に合格していたでしょう。
If you () () harder, you () () passed the exam.

3 願望を表す仮定法

「(今) …であればよいのに」「(あの時) …であつたらよかったのに」のように、実現できそうないと話し手が判断している願望を表すとき、〈**I wish ...**〉の形が使われる。

1 〈I wish + S + 仮定法過去〉

5 I wish I were a billionaire. 億万長者だったらよいのだが。 465

6 I wish I could play the guitar like Eric Clapton. 466
エリック・クラプトンのようにギターが弾けたらよいのだが。

〈**I wish + S + 仮定法過去**〉の形で、
「(今) …であればよいのになあ」と、
現在の事実と反することについての
願望を表す。

5 は「実際には、億万長者ではないのだが」という話し手の気持ちが含まれている。be 動詞が were になっているが、主語の人称にかかわらずに仮定法過去の were が使われる。ただし、主語が 1 人称・3 人称の単数のとき、《くだけて》では was となることも多い。

6 は「実際には、エリック・クラプトンのようにはギターが弾けないのだが」という話し手の気持ちが含まれている。現在の事実とは異なることを表すために、can を仮定法過去にして could play とし、〈助動詞の過去形 + 動詞の原形〉の形にする。



12

仮定法

【!】 この助動詞の過去形 could は、能力を表す助動詞 can が I wish 節内で仮定法過去として使われて「…できればいいのに」という意味になっているわけである。

類例 **I wish there were** [《くだけて》 **was**] no war. 戦争なんかなければいいのに。

I wish I had more money. もっとお金を持っていればなあ。

I wish it weren't [《くだけて》 **wasn't**] raining today.

今日は雨が降っていなかったらいいのに。

【!】 wish の主語は、1 人称の I 以外の人称を用いることもある。
He wishes he could speak English more fluently.
 もっと流ちょうに英語が話せればいいのに、と彼は思っている。



【!】 〈**I wish S would + 動詞の原形**〉では、「S が（自ら進んで）…してくれたらいいんだが」という話し手の気持ちが含まれることがある。

I wish Bill would listen to me.

ビルが私の言うことに耳を傾けてくれればいいのだが。

I wish my boys would sit still during the haircut.

うちの息子たちが、散髪の間じっと座っていてくれればいいのだけど。

この助動詞の過去形 **would** も、意志を表す助動詞 **will** が **I wish** 節内で仮定法過去として使われていることに注意！



2 〈I wish + S + 仮定法過去完了〉

7 **I wish I had not said** such a thing to him. 467

あんなことを彼に言わなければよかったのだが。

8 **I wish I could have watched** the game at the stadium. 468

スタジアムで試合を観戦できればよかったのだが。

〈**I wish + S + had done 仮定法過去完了**〉の形で、「(あの時) …であつたらよかったのになあ」と、過去の事実とは異なることについての願望を表す。

7 は「あの時、実際にはあんなことを言ってしまったのだが、言わなければよかったのになあ」という話し手の思いが含まれていて、過去完了の否定形を用いて **had not said** となる。

8 は「あの時、何らかの事情でスタジアムで試合を観戦できなかったのだが」という話し手の思いが含まれている。「…できればよかったのになあ」と過去の事態と異なることを示すためには、〈**could + have + 過去分詞**〉の形となる。

類例 **I wish you had not treated** him like that.

君が彼をあんな風に扱わなければよかったのに。

I wish you could have seen the show live.

君がそのショーを生で観ることができればよかったのに。



2 <If + S + were to do>

10 If a tsunami **were to** come, I **would** run to a tall building.

もし仮に津波が来たとしたら、私は高い建物まで走るだろう。

〈If S were to do〉の形は、予定を表す〈be to do〉の仮定法の形。「仮に…なら」という単なる仮定を表したり、実現性が低い、あるいはまったくないことを表したりするので、文脈から判断する。起こる可能性が0%から100%の場合まですべて使うことができる。if以下の内容があくまでも「純粋な仮定」と見なされているからである。

類例 If they **were to** win the next game, they **would** advance to the National Championship.

もし仮に彼らが次の試合に勝つとすれば、全国大会に進むこととなるだろう。

If she **were to** get straight A's again next semester, her father **would** buy her a new smartphone. もし仮に彼女が来学期にまたオールAを取ったなら、彼女のお父さんは彼女に新しいスマホを買ってあげるだろう。

【!】 〈If S were to do〉の形を受ける主節（帰結節）では、通例**助動詞の過去形**が使われる。〈If S **should** + 動詞の原形〉の場合と異なり、助動詞の現在形は使われない。

If you **were to** come to my house,

I **would** [× will] treat you with curry and rice.

もし仮にあなたがうちに来ることがあれば、カレーライスでおもてなししますよ。

cf. If you **should** come to my house,

I **would** [will] treat you with curry and rice.





「要求」「提案」「忠告」などを表す動詞に続く that 節で、仮定法現在（動詞の原形）が使われる。that 節内では（米）では**動詞の原形**を用い、（英）では〈**should + 動詞の原形**〉とするのが普通だが、（英）にも動詞の原形が広がりつつある（特に命令的意味の強い動詞ではその傾向が強い）（▶ pp127-130 should の間違いやすい用法）。

類例 I **suggest** that you **(should) go** home at once.

直ちに家に帰った方がいいですよ。

Ms. Hasegawa **proposed** that Ai **(should) go** to hospital with her younger sister. 長谷川先生は、愛は妹と一緒に病院に行くべきだと提案した。

The police **ordered** that the demonstrators **(should) leave** the square immediately. 警察はデモ隊は直ちに広場から出て行くようにと命じた。

My teacher **proposed** that I **(should) spend** more time preparing for the class. 先生は、私はもっと予習に時間をかけたほうがいいと提案した。

I **request** that students **(should) evacuate** the hall in an orderly manner. 生徒諸君は整然とこのホールから退去しなさい。

コーパス この種の動詞としては、以下のようなものがある。that 以下の事柄がまだ実現していなくて、話し手がこれから実現してほしい、実現させるべきだ、やってもらいたいなどと考えているという特徴がある。

※仮定法現在の代用だから、（まだ実現していない行為について述べている）should have done の型はない。

advise (忠告する)

ask (頼む)

beg (懇願する)

declare (宣言する)

demand (要求する)

desire (…であれと願う)

direct (指示する)

expect (期待する)

insist (要求する)

order (命令する)

propose (提案する)

recommend (推薦する)

request (依頼する)

require (要求する)

suggest (提案する) など

発展 suggest / insist は要注意



suggest / insist に続く that 節内では、必ず動詞の原形（または should + 動詞の原形）が使われるわけではない。意味に応じて区別しよう。

・ suggest

- ① 「…を提案する」 → 「実現してほしい」 内容がくるので動詞の原形（または should + 動詞の原形）

I suggested to John that he (should) take legal action.

ジョンに、法的措置を取ってはどうかと提案した。

- ② 「…を暗示する・示唆する」 → 直説法（時制・主語（人称・数）に応じて動詞の形を変える）

The research suggested that the Japanese economy is recovering.

その調査は日本経済が回復基調にあることを示唆している。

・ insist

- ① 「…を要求する」 → 「実現してほしい」 内容がくるので動詞の原形（または should + 動詞の原形）

The doctor insisted that he (should) get plenty of rest after the surgery. 医者は彼に、手術後は十分休養を取ってもらいたいと念押しした。

- ② 「…を主張する」 → 直説法（時制・主語（人称・数）に応じて動詞の形を変える）

She insisted that her purse was genuine.

彼女は、自分の財布は本物だと強く言い張った。



12

仮定法

2 「重要」「必要」など判断を表す形容詞に続く that 節で



14 It is **important** that you **make** a copy of the receipt.

474

領収書のコピーを取っておくことが重要だ。

15 It is **necessary** that you **have** some coins.

475

小銭を用意しておくことが必要だ。

〈It is important [necessary] that ...〉の that 節において、仮定法現在が用いられることがある。(英) では 〈**should** + 動詞の原形〉が使われることもあるが、最近では動詞の原形もよく使われる。

【!】 この種の形容詞としては、他に desirable (望ましい), essential (不可欠な), proper (適切な), right (正しい, 当然だ), vital (不可欠な) などがある。that 以下の事柄がまだ実現していなくて、話し手がこれから実現してほしい、実現させるべきだ、やってもらいたいなどと考えているという特徴がある。

ここが Point! 〈要求・提案〉の名詞の場合



要求・提案などを意味する名詞を修飾する形容詞節内でも仮定法現在が使われる。that 以下の事柄がまだ実現していなくて、話し手がこれから実現してほしい、実現させるべきだ、やってもらいたいなどと考えているという特徴がある (これらは、1 の動詞〔→ p.349 コーパス〕が名詞化された名詞構文と理解するとよいだろう)。

Paul will not agree to their **demand** that he **attend** the meeting.

ポールは会議に出席せよという彼らの要求を受け入れないだろう。

The **proposal** that the government **increase** spending on education is worth considering. 政府が教育関連支出を増額するという提案には一考の余地がある。

17 については、if 節の中においても closed という過去形が使われているが、これも丁寧さを表す役割を果たしている。ただし、Would you mind if I **close** the window? のように現在形を使うこともある。

16 19では、相手の意思を聞いているのに、16では形式主語の it を、19では話し手を指す I を主語にしているので客観的・間接的表現になり、それぞれ Would you cancel my reservation?/Could you lend me your pen? とすると、より丁寧さが増す。

仮定法過去にすることによって現実との間に〈距離感〉が生まれ、「これは現実のことではなくて、あくまでも願望として仮定している話なのですが」という前提で話をしていると相手に解釈してもらうという遠回しな表現である。

類例 Would you do me a favor and take that box for me?

お願いがあるのですが、あちらの箱を取っていただけませんか。

Would it be all right if I sit next to you?

お隣に座ってもよろしいでしょうか。

Could you kindly hold the door for me?

ドアを押さえておいていただけませんか。

Wouldn't it be better to give you a call on Monday?

月曜日にお電話を差し上げた方がよくはないでしょうか。

Could I take a picture with you, please?

どうか一緒に写真を撮っていただけませんか。



【!】 would は〈相手の意志〉を尋ねることになる一方、could は〈可能性〉を尋ねるので、could にするとより丁寧にはなるが「お願いしている」というニュアンスが強くなる。

2 〈I wonder if ...〉を使った表現



20 **I wonder if** you could tell me the way to the station.

480

駅までの道順を教えてくださいませんか。

21 **I was wondering if** you could help me with my homework.

481

私の宿題を手伝ってもらえないかと思っていたのですが。

〈**I wonder if ...**〉や〈**I was wondering if ...**〉（…かしらと思う）を文頭に置くと丁寧な表現となる。さらに条件節の助動詞を **could** にすることで、より丁寧さの度合いが高まる。

現在形ではなく進行形にするとより丁寧になるのは、自分の願いはあくまでもまだ結論を出しておらず断定していない、迷っている「途中・最中」であるという気持ちを表すから（→ p.72 「発展」）。**can** を仮定法過去にすると、現実との間に〈距離感〉が生まれ、「これは現実のことではなくあくまでも頭の中の願望としての仮定なので…」という控え目な言い方になる。

類例 **I wondered if** you could share your textbook with me.

教科書を一緒に見せてもらえないでしょうか。

I was wondering if you could take me to the nearest convenience store. 一番近くのコンビニまで連れて行ってくださるとありがたいのですが。

【！】 〈**I wondered [was wondering] if ...**〉のように、過去（進行）形が使われているからといって、現実に関することについて語っているわけではないことに注意しよう。ここでは過去形の持つ〈距離感〉が間接性を高める目的で使われている。丁寧度は、〈**I wonder if ...**〉→〈**I wondered if ...**〉→〈**I was wondering if ...**〉の順に高くなる。

【！】 wonder 以外にも appreciate（感謝する）などを使う丁寧な依頼表現もある。

I'd appreciate it if you could reply at your earliest convenience.

≡ **It would be appreciated if** you could reply at your earliest convenience. 直近でご都合のよろしいときにご返事いただけましたら誠に感謝申し上げます。〔上例の **it** は **if** 以下の内容を表す。〕

I'd be grateful if you could send me a picture of your baby.

赤ちゃんの写真を送っていただければありがたいです。